

## 個性を認められる社会へ

12月7日(月)の校長による人権講話をスタートに、今週一週間は人権が尊重される社会を実現しようとする実践力を育てる取組をしてきました。人権講話では、「正しい知識を得て、正しく判断し、正しく行動する」をテーマに、「性同一性障害」と「コロナ差別」について生徒に考えてもらいました。生徒の感想を以下に掲載しますが、今回は「LGBT」、「性同一性障害」についてのみの部分とします。

私は社会でSDGsの目標にジェンダーのことについて書かれていたので、少しは知っていました。動画を見て性同一性障害について詳しく知ることができました。私は自分のもっている性に違和感をもっていません。違和感をもっている人の苦しさは私にはどのくらいの苦しさか上手く理解することはできませんが、これからの社会を生きていく上で、そのような人がいるということを知っておく必要があると思います。

LGBTはSNS上で見たこともあったし、そういったものを題材とした物語も見たことがあったから、なんとなく知っていました。でも、このなんとなくが偏見や差別を生み出してしまっているのではないかと思います。昔よりも理解が深まってきているけど、間違った理解で偏見や差別が起きていると考えるととても辛いです。

LGBTについて詳しく知ることができて良かった。世界中にはいろいろな人がいて、自分と違うからといって差別をしたりすることは良くないことだと思った。～中略～ 私は、世界中の誰もが苦しまず生活できるよう、個性を認め、差別しないように生活していきたいです。

LGBTは周りの理解があまりなく差別の的になってしまい、LGBTの人たちはなかなか打ち明けることができないという状況を改めて知り、LGBTについて理解を深めようと思った。自分はLGBTの1つ1つの意味を知らなかったのでもっと詳しく知ることができて良かった。そしてLGBTの割合は8.9%と左利きの割合とAB型の割合とあまり変わらないことにビックリした。

最近LGBTについて小説を読んだので、今日の講話は興味をもって聞くことができました。その人たちに偏見をもたないで理解できるようになりたいと思いました。約9%ほどLGBTの人がいるなら、クラスや学校の中にもおかしくないな、気がつかないだけで身近な存在なのかな、と感じました。今は昔と違い、少しは理解しやすい社会になっているとは思いますが、同性婚の認められている外国に比べるとまだまだだと思います。社会の調べものでLGBTについて調べたりしているのでも、これからも興味をもちたいです。

今、たまたま読んでいた本がLGBTの話の本で、少し興味があったので、この人権講話でもっと知ることができて良かったです。私は左利きなのですが、この左利きと同じくらいの割合でこのような人たちがいることに驚きました。そう考えると私たちの身近にもこのような悩みを抱えている子がいるかもしれないと思うと考えさせられます。LGBTは1つの個性だと思うので、私はとてもすてきなことだなと思います。

もともとLGBTには関心があり詳しく調べたりしていました。なので今回の講話の内容もすごく理解しやすかったです。私がLGBTに興味をもったのは、アカデミー賞でのある男性が男性の恋人とともにタキシードドレスという性を感じさせない服を着て堂々と歩く姿がとてもカッコいいと思ったからです。私自身男兄弟ばかりで中身が少し男よりのと、男も女も同等に見られている節があり、バイセクシャルとまでは言いませんが少し分かるなと思っているので、差別がなくなるなら、できる範囲で関わっていきなさいと思いました。日本は同性婚を認めてはいませんが、パートナー制というものをつくり、同性と生きていくことを認める制度があります。少しずつでも差別がなくなるといいなと思います。



私はこの人権講話を聞いて、差別とは他人の普通を自分の普通に合わせて違うところがあると相手を遠ざけようとするものなのかも、と思いました。そして、その差別が今、たくさん起こっていて、そのことで苦しんでいる人がいると思うと少し悲しくなりました。差別がなるべく起きないように、たくさん情報をうのみにせず、冷静に正しい情報を判断したり、差別をされた人の気持ちを考えて行動したいです。また一人一人が違う個性をもっているから社会ができて思うので、相手の個性を受け止めて尊重し合える社会になっていけたらいいと思いました。

校長先生が性的マイノリティ(少数派の人)が8.9%いると言っていたが、血液型などで表すと一番少ないAB型の人と同じくらいだったので、「けっこう多いんだ」と思いました。LGBTという単語を今日初めて聞きました。その人は誰かに言えないから「大変なんだ」と思いました。何でもやっぱり差別は良くないと思いました。今は、身近にそういう人がいないように思うけど、未来にそういう人がいたらそっと、普通に接してあげると良いと思いました。

今日の人権講話を聞いて、性同一性障害やコロナウィルスにより生まれてしまった負のスパイラルについてよく考えられました。性同一性障害のことは基本知識はありますが、実際に性同一性障害の方のお話を聞くのは久しぶりででした。私の友達にLGBTの人がいるのでとても身近な存在です。その友達の話聞いてもやはり生きづらい、上手いかわないと言っていました。身近な存在なので私は差別や偏見をもったことはありませんでした。私は差別や偏見が嫌いなのでこれからも差別や偏見をもちたくないと思いました。

私は元々LGBTのことをSNSなどで知っていて、私は「あ！こういう人たちもたくさんいるんだ！」と思っていて、良いなと思っていました。でも、SNS上で批判や差別をしている人がいてLGBTのことをもっとみんなに知ってもらいたいと思っていました。だから校長先生がこのことを話してくれてとてもうれしかったです。私はLGBTのことは知っていたけど、その人たちの気持ちは考えなかったの、この話を聞いてとても辛いということが分かりました。LGBTの人たちがもっと楽しく過ごせるように、もっといろいろな人たちにLGBTのことを知ってもらいたいと思いました。そして私ももっとLGBTのことを知ろうと思います。

改めて差別や偏見はダメだと思いました。世の中には、いろいろな人がいることが分かりました。みんなと違うからって差別したりするのは絶対にダメ。～中略～ そのみんなと違うところも認め合うことが大切だと思いました。

世界中で言われている普通って何だろう…と深く考えさせられました。～中略～ マイノリティの人がカミングアウトしづらいのは普通以外を差別し偏見をもつからだだと分かりました。世界には70億人の人々がいて、その8.9%なので6億人程いる計算になります。クラスの中には2.581人、決して多くはありませんがいないというわけでもありません。LGBTにもパンセクシャル(全性愛者)やアロマンティック(恋愛対象がいない)などがいるのもこの前知りました。自分と違う考えを差別するのではなく、「こういう人もいるよね。」というふうにとらえてみれば、自分の考えやものの見方、世界がぐんと広がると思います。全ての人が生きやすい世の中になることを切に願っています。

◎本日6校時に生徒総会を行いました。人権集中学習の最後に、生徒全員で「大中いじめ防止スローガン」を考えました。大中からいじめを撲滅するため、生徒会本部役員を中心として本気で取り組んでいます。

## マラソン大会

12月4日(金) 晴天の下、校内マラソン大会が行われました。応援に駆けつけてくださった保護者のみなさん、ご協力いただいた交通指導員のみなさん、PTA本部役員、学年委員、父親健育委員のみなさん、本当にありがとうございました。おかげさまで無事に終えることができました。